# 豊洲新市場予定地における土壌汚染対策等に関する専門家会議

第4回(平成19年10月6日実施)



○ 8月2日から、地下水・土壌・表層土壌ガス調査を、 計243箇所で実施しました

# ~調査結果~地下水調査〇 環境基準を超過した箇所25箇所

9	土壌調査	н,
U	(29箇所)	

(56箇所)

〇 環境基準を超過した箇所 10箇所

<物質名>	く環境基準	ieとt	比較した濃度	> <箇所数>	
ヘッン・ナガン・ノ	_ 1,600 倍 1 倍超	<u></u>		1	
ハンヒン	1 倍超	$\sim$	80 倍未満	2	
シアン化合物	1 倍以上	$\sim$	40 倍未満	4	
ヒ素	1 倍超	$\sim$	10 倍未満	8	
鉛	1 倍超	$\sim$	10倍未満	1	
				*重複箇所あり	

表層土壌ガス調査

(243箇所)

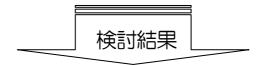
〇 地下水調査を行うべき基準値以上の箇所 11箇所

- 地下水位の状況により、調査可能だった箇所は、 - 185箇所 . . .

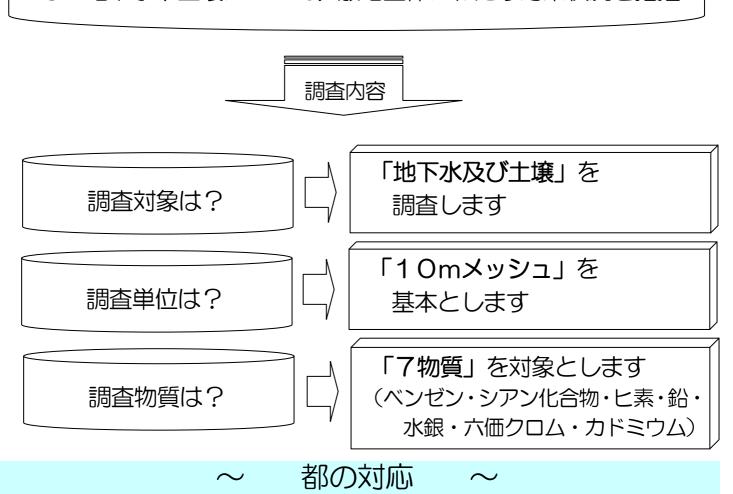
# ~ 専門家会議の討論

## ~討論のポイント~

東京ガス(株)の土壌汚染調査の結果、汚染濃度が低いと 想定されていた箇所の地下水から環境基準の1,000倍 という高濃度のベンゼンが検出



- 生鮮食料品を扱う市場用地では、詳細な調査が必要
- 地下水や土壌について、敷地全体にわたり汚染状況を把握



専門家会議の討論を踏まえ、詳細な調査計画を策定しています

## ~ 高濃度のベンゼンについて ~ [専門家の意見]

#### 高濃度が検出された理由は?

東京ガス(株)が操業していた当時は、空地であったことから 汚染原因の特定が困難

原因を確認するために

東京ガス(株)に土地や施設の利用履歴を確認

#### 人体への影響は?(地下にある高濃度のベンゼン)

有害物質は、地下に封じ込められた状態にあり、 地下水を飲用する可能性はない



仮に、地表に出てきたとしても、空気中で拡散し、 薄まることから、吸い込んだとしても人体への影響はない

#### (今まで実施した調査結果の公表)

11月中旬に、8月2日から実施した「地下水・土壌調査」の結果をホームページ上で公表します

次回の会議は、平成19年11月5日(月)午後4時から 「土壌・地下水の詳細調査計画」の討論を予定しています